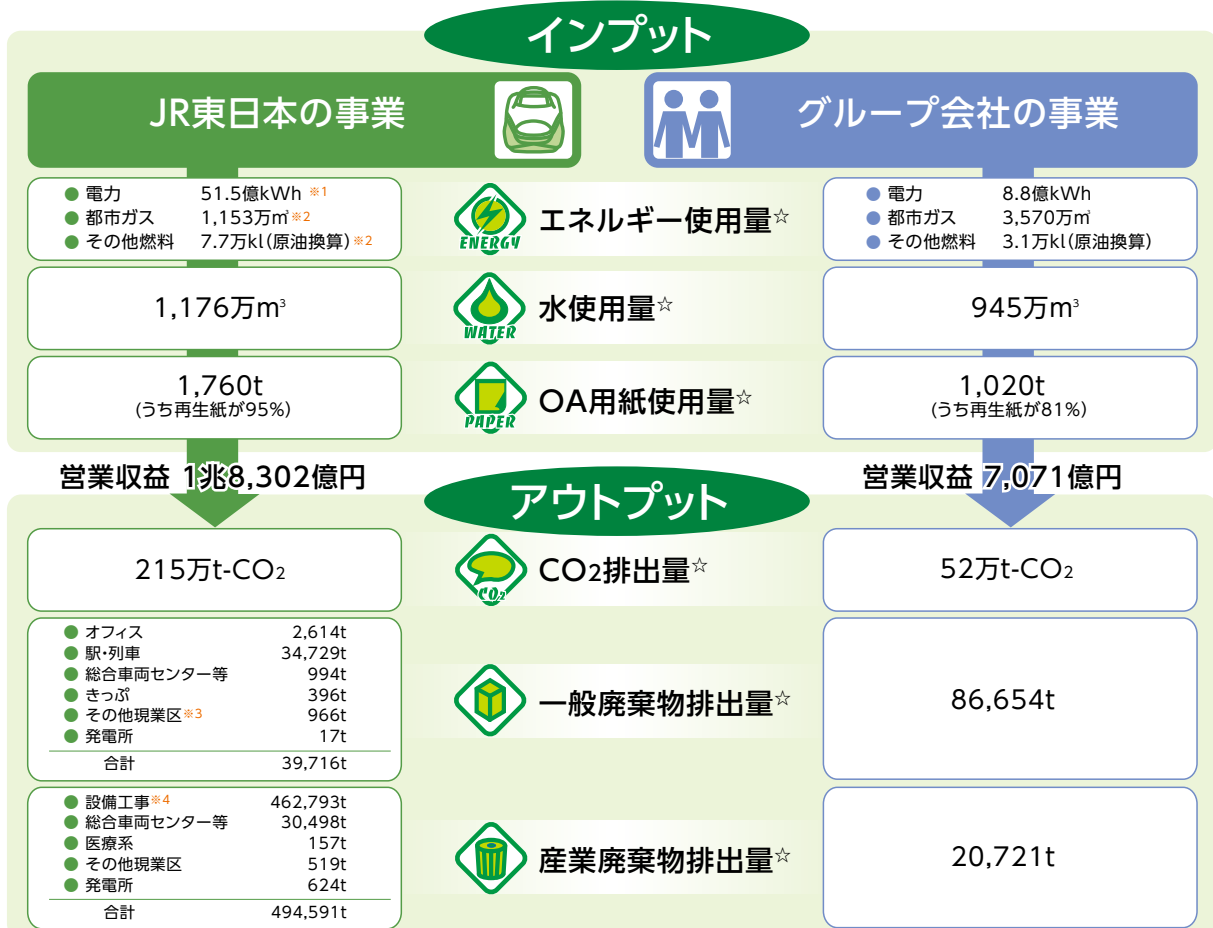


グループ全体の環境負荷

廃棄物処理についての考え方

- ・廃棄物には「有価物」を含みます。
- ・清掃工場等で処理される一般廃棄物や、中間処理として焼却される産業廃棄物のなかで、サーマルリサイクル※されている場合は、リサイクルとして扱っています。

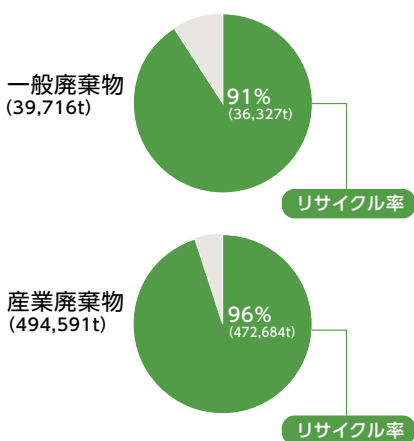
※サーマルリサイクル 廃棄物を燃やした時の排熱を回収して蒸気や温水をつくり、発電や給湯等に利用するリサイクル手法のこと。



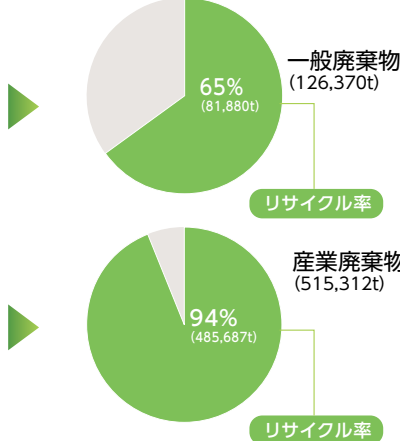
※グループ会社のエネルギー使用量について、2010年度から省エネ法の考え方に合わせ、テナントのエネルギー使用量や事業所敷地外で使用する車両(特定輸送事業者分を除く)の燃料使用量を集計から除外しました。また、JR東日本の集計範囲の変更(P14参照)に合わせ、JR東日本側で集計していたJR東日本からグループ会社へ供給される電力使用量をグループ会社側で集計し、JR東日本からの委託業務にかかるエネルギー使用量はJR東日本側で集計することにしました。これらの変更により、エネルギー使用量とそれに伴うCO₂排出量は前年度に比べ減少しました。

※開示数値については、震災により集計できなかったデータがありますが、全体への影響は軽微です。

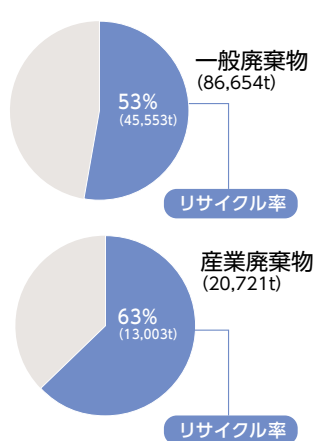
■ JR東日本のリサイクル率 ☆



■ JR東日本グループ全体のリサイクル率 ☆



■ グループ会社のリサイクル率 ☆



※1 電力 インプットされた電力については、自営発電所で発電し、弊社内で使用した電力と、電力会社から購入している電力の双方を含んでいます。

※2 都市ガス・その他燃料 都市ガス、その他燃料について、自営火力発電所で発電用に使用している燃料は含まれていません。

※3 その他現業区 設備のメンテナンス等を行う技術センターや車掌区等。

※4 設備工事 法律上は工事の請負会社が排出事業者となる工事廃棄物も産業廃棄物に含んで把握しています。